

花きの県別生産出荷概況(12月見通し)

品目	県名	作付面積ha (前年比)	主な品種	12月出荷見込み 千本		主産地	12月のピーク			
				全出荷量	京浜地域		上	中	下	
アルストロメリア	青森県	1.96 (100%)		20 (94%)	18 (95%)	藤崎町	40	30	30	
	山形県	9.6 (95%)	アバランジェ エベレスト ピンクサブライズ プリマドンナ レベッカ、レモン 他	336 (88%)	168 (88%)	JA山形おきたま JA鶴岡 JAそでうら	35	35	30	
	長野県	-	セナ・アモール・マンゴー・レベッカ プリマドンナ・プッチーニ・ドリームランド ロッシーニ・バージニア・オルガ・フィネッ セ アルーラ・オレンジクイーン 他	1,400 (105%)	700 (105%)	佐久 伊那 諏訪 松本	45	30	45	
ストック	秋田県	3.3 (100%)	雪波、朝波、アイアン系、ホワイトコラン ダム	680	340	JAうご JAこまち	30	30	40	
	山形県	44 (95%)	アイアンシリーズ カルテットシリーズ 雪波 朝波 シャンテシリーズ	2,150 (90%)	1,300 (90%)	JA庄内たがわ、JA庄内みどり JA鶴岡、JAさがえ西村山 JAみちのく村山、JA山形 JA山形市、JA天童 JA山形おきたま 他	30	30	40	
	福島県	- (96%)	アイアン系 雪波、朝波 他	280 (96%)	230 (96%)	あいづ 会津みどり	30	40	30	
	千葉県		39.8 (100%)	(スプレー)カルテット系 【ホワイト、チェリー】 (スタンダード)アイアン系 【ホワイト、チェリー、ピンク他】	245 (100%)	117 (100%)	館山市(神戸、西岬) 南房総市(白浜の長尾、 千倉、丸山、和田) 鴨川市	20	30	50
			2.0 (100%)	カルテットシリーズ	70 (100%)	70 (100%)	いすみ市、勝浦市 大多喜市	25	30	45
			0.8 (100%)	(スプレー)カルテットシリーズ 【ホワイト、チェリー、マリン】	35 (110%)	35 (110%)	君津市 袖ヶ浦市	30	30	40

バラ	群馬県	15.3 (90%)	サムライ、ティネケ ノブレス、マイガール アバランチェ 他品種多数	550 (97%)	470 (97%)	利根沼田 前橋市 甘楽豊岡	40	30	30
	茨城県	11 (98%)	サムライ08、アバランチェ、 つくばエクスプレス、ファンシーローラ、 シューティングスター 他	390	320	土浦市、石岡市 かすがうら市、笠間市 筑西市 他	30	35	35
	山梨県	3.8 (93%)	ローテローゼ、サムライなど	280 (97%)	260 (96%)	笛吹市 (御坂町)	40	30	30
	静岡県	22 (94%)	サムライ アヴァランチェ リメンブラン スイートアヴァランチェ	1,300 (95%)	1,150 (97%)	JALみず JA大井川 JA掛川市 JA遠州夢咲	37	33	30
	愛知県		サムライ08、レッドスター、 アバランチェ、フレアー ベイブ、シンディ 他	2,550 (102%)	1,020	愛知みなみ ひまわり 西三河 豊橋	35	30	35
	佐賀県	4.7 (100%)	スプレー系等多品種	180	75	佐賀みどり(太良)	35	35	30

品目	作柄及び概況	販売における現状と今後の見通し
アルストロメリア	<p>夏場の猛暑による集中出荷の影響により、株が疲弊しており総じて出荷量が伸び悩んでいる。12月も前年を下回る出荷量となる見込み。病害等は見られない。</p>	<p><b>現状</b></p> <p>愛知は低温により増加が見られず安定した出荷。他産地も低温の影響を受け、大きな増加が見られない出荷となった。需要面では上旬は品薄から高単価で推移し中旬以降安定した取引となった。</p>
	<p>・夏秋季の高温の影響により花茎の発生がやや遅れており、12月の出荷量は前年の85～90%程度と見込まれる。 ・病虫害の発生は少なく、切り花品質は良好である。</p>	<p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 愛知、長野中心に数量は増加し、安定した出荷となる見込み。各業種で安定した取引となり、中旬に向け落ち着いた相場となるが、年末に向けては各業種で引合い強まり高単価になる見込み。 480,000本 @95</p> <p>FAJ 引き続き堅調な相場での取引見込まれる。長野中心の入荷。</p>
	<p>9月の暑さの影響が心配されるが11月以降気温が下がり徐々にハウス内に滞留するようになり数量は確保される見込み。</p>	<p>東京フラワーポート 徐々に増加してくるが前年に比べ少ない。</p> <p>世田谷花き 上旬に数量のピークを向かえる見込み、下旬の強い引合に向けて、各調整が必要。</p>
ストック	<p>JAうご: 昨年より2日遅れ。品質は良好。 JAこまち: 春先の爆弾低気圧の影響やお盆出荷のトルコが遅れたことでローテーションがうまくいかず、定植が遅れた。夏場の高温の影響で、花芽が送れ、芯どまりも多い。加えて11月の曇・雨天で全体量は減ると見ている。12月の出荷に関してはこの後の天候にもよるが、ピークはなくだらだらとした出荷になりそう。</p>	<p><b>現状</b></p> <p>出荷始めから出遅れている分が徐々に増えてきた。下旬には昨年並みの数量が出てくる。需要面では上中旬に数量が少なく、活発な取引となった。</p>
	<p>・スタンダード系品種のアイアンシリーズの生育はやや遅れている。 ・スプレー系品種のカルテットシリーズの生育は例年並みである。 ・スタンダード系、スプレー系の品質とも出荷ピークとなる。品質は概ね良好である。 ・作型により順次出荷時期がずれることから、出荷ピークは大きくないと思込まれる。</p>	<p><b>見通し</b></p> <p>大田花き 出遅れている分、各産地数量が出てくる見込み。冬の季節品目としての有利販売が期待できる。年末需要に向け、活発な取引が見込まれる。</p>
	<p>夏場の高温でやや草丈が短め、寒さの影響で生育遅れも一部見られているが、だらだらとした出荷が続く見込み。全体的な出荷量はやや減となりそう。</p>	<p>FAJ 引き続き千葉中心。入荷量増量予定。</p>
	<p>夏の高温の影響で、品種により1～2週間程度生育が遅れている。南房総地区の個選はスタンダード、スプレーとも11月初旬から出荷が始まっている。共撰部会ではスプレーは11月中旬から始まっており、スタンダードは12月初旬からとなる見込み。</p>	<p>世田谷花き 山形・福島などから入荷。入荷は現地の天候次第。</p>
	<p>品質は良好。JAいすみ花き出荷組合は11月8日から出荷を開始し、12月上旬からは本格化する。 JAいすみ花き出荷組合は11月8日にほ場検討会を実施した。11月30日には出荷査定会を実施予定。</p>	
	<p>10月後半からの冷え込みで、開花が遅れている。12月以降出荷がまとまる見込み。</p>	

バラ	<p>9月の高温の影響も少なくなると予想され、作柄も平年並になると思われる。病害虫の発生も少なく良品質。</p> <p>12月は気温の低下や低日照期であることから、平坦地では、燃料価格によって出荷量の減少も見込まれる。中山間地域では、12月以降、加温を行う農家は少なくなり、1月～3月中旬は5℃程度の加温に抑え、多くの農家で出荷休みとなる。</p>	
	<p>生育は、概ね順調で平年並みの出荷が見込まれる。</p>	<p><b>現状</b> 西南暖地の品質も向上し、上位等級の入荷。ブライダル需要中心に引合いの強い状態が続いている。小売店では「いい夫婦の日」の需要や専門店でのバラフェア等で若干の動きが見られた。</p>
	<p>生育順調。</p>	<p><b>見通し</b></p> <p>大田花き ブライダル需要は落ち着き、赤系中心の動きとなる見込み。高冷地では加温せずに休眠に入る産地が出始める。</p>
	<p>面積が若干減少していることにより、出荷量はやや減少する見込み。昨年よりも上位階級の発生は良い状況。月を通して概ね横ばいの出荷割合で、上旬が多く下旬に向けて徐々に減少する見込み。</p>	<p>FAJ 前半はやや落ち着いた販売となるも、年末年始に向け需要拡大、引合いも強まる。</p> <p>第一花き クリスマス・業務需要中心の流れで概ね例年並み @100</p>
	<p>・菊類に比べ、なだらかな出荷となる見込み。初夏が涼しく、7月の出荷量が多かったが、その反動で8月、9月の出荷量は昨年を下回る量となった。昨年は反対に11月まで一昨年を上回るペースであり、12月に量が減ってしまった。今年は昨年よりやや多いものの、気温の低下の影響はあると考えての出荷見込みである。</p>	<p>世田谷花き 婚礼需要は一段落、赤系を中心に相場順調、入荷量は昨年並の見込み。</p> <p>東京フラワーポート 暖地中心の出荷、クリスマスで赤系の引合いが強い。</p>
<p>冷え込みと同時に、上位等級増加の見込み。</p>		